



吾北中学校

〈吾北を知ろう・ふれよう・考えよう〉

総合的な学習の時間を利用して、
 〈吾北を知ろう・ふれよう・考えよう〉をテーマに、「仁淀ブルー」奇跡の清流」として全国に知られるようになってきた仁淀川を、吾北の宝としてとらえ直し、今年度は最初のステップ「知ろう・ふれよう」としてラフティングを体験しました。

土佐和紙工芸村くらうどに併設されているアウトドアセンター・リパークルーズのインストラクターの指導のもと、全校生徒が学年ごとに、3年生は6月19日、2年生は23日、1年生は27日に、名越屋沈下橋をスタート地点にして、

それぞれ半日貴重な体験をしました。あらためて仁淀川の美しさ、怖さを実感することができました。



体験して…(感想文：二年生)

今日私は初めてラフティングをやりました。最初は、「水が冷たいだろつな、落ちないかな」という気持ちでとても不安でした。でも、みんな「一…二…一…二…」言いながらやると、一体感があって嬉しくなりました。特に流れが速いところで、グルグル回ったり、立ったりすることが怖かったけれど楽しかったです。

飛び込みは二回やりました。体在水中に沈んでいくのが面白かったです。いつかはもっと高いところから飛び込めるようになりたいと思います。ゴールに近づいたときは、『もう終わりか、早いなあ』と思いました。

今日のラフティング体験では、いろいろなことができ自信になりました。また機会があれば、自然に触れたいと思いました。

長沢小学校

◆ふれあい自然学習

7月7日、いの町教育委員会スクールコミュニケーション育成事業の一環として、いの町観光協会や、くらうどのご支援により全校自然体験学習を実施しました。会場は越裏門地区の河原で、メインの活動は、スタンドアップパドル(略称サップ)と釣りでした。

サップの講師をお願いしたお2人は川遊びの達人です。吉野川源流の冷たい川の水にも耐えられるように、ウエットスーツなどフル装備のご準備までご配慮いただきました。おかげさまで、曇り空でしたが児童15名は誰一人寒いとも言わず、前半のサップ、後半の釣りを楽しむことができました。

講師のほか、本川教育事務所、地域おこし協力隊、保護者、計7名と教職員9名、総勢31名の集いとなりました。

児童からは、
 「ぼくが一番楽しかったのはスタンドアップパドルです。カヌーとはちがって、ただの板だし、パドルも片方にしかこげる部分がありませんでした。やってみると、楽しかったので何回もやりました。」
 「バーベキューもおもしろかったし、



釣りも楽しかったです。来年もまたやりたいです。」
 という感想が聞かれました。
 体ごと地域の自然に飛び込んで、夢中になって過ごした楽しい一日でした。児童には、きつとふるさと意識が芽生えてきたことでしょう。ご支援くださった皆さん、ありがとうございました。